

青森県教育委員会第907回定例会会議録

1 期 日 令和6年8月9日（金）

2 開 会 午後4時

3 閉 会 午後4時8分

4 場 所 教育庁教育委員会室

5 議事目録

報告第1号 令和6年度全国学力・学習状況調査の結果について

6 出席者等

・出席者の氏名

風張知子（教育長）、新藤幸子、安田 博、松本史晴、中野博之

・欠席者の氏名

平間恵美

・説明のために出席した者の職

長内理事、早野教育次長、高橋教育政策課長、伊藤職員福利課長、下山学校教育課長、小関教職員課長、福士学校施設課長、小館生涯学習課長、坂本スポーツ健康課長、山館文化財保護課長、佐藤高等学校教育改革推進室長

・会議録署名委員

新藤委員、中野委員

・書記

西智明、佐藤栞

7 議 事

報告第1号 令和6年度全国学力・学習状況調査の結果について

(下山学校教育課長)

令和6年度全国学力・学習状況調査の結果について御報告する。

はじめに、「教科に関する調査について」である。

本県公立小・中学校の国語及び算数・数学の平均正答率は、小学校において全国平均を上回り、中学校において全国平均を下回ったものである。知識・技能及び思考・判断・表現の観点においては、小学校では全国平均を上回り、中学校では下回ったものである。

なお、調査により測定できるのは学力の特定の一部であることから、各校においては、平均正答率の高低のみに注目するのではなく、自校の結果を丁寧に分析し、学習指導上の課題を明らかにするとともに、その改善に向けて学校全体で取り組むことを期待しているものである。

次に、児童・生徒質問紙調査についてである。「(1) 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況」については、小・中学校ともに、「授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができている」と実感している割合が全国と比較して高くなっている。一方、「自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表している」と実感している割合が相対的に低い状況となっている。

次に、特徴的な結果が出た項目についてである。小・中学校ともに、「国語の勉強は好きである」「算数・数学では、別の解き方を考えたり、生活の中で活用できないか考える」といった教科における興味・関心に関する項目が全国平均を大きく上回っている。一方、家庭学習に関する項目が、小・中学校ともに全国平均を下回っている。このことについては、全国的に児童生徒の家庭での学習時間は減少している状況であるが、その原因として、児童生徒が自ら学び方を考え、短い時間で質の高い学習を行うなど、学び方やICT機器活用が勉強時間に影響を与えている可能性も考えられるといった指摘もある。

続いて、学校質問紙調査における、小学校教育と中学校教育の連携及び家庭や地域との連携等、家庭学習についてである。小・中学校ともに家庭学習に関する項目が全国平均を上回っている。一方、地域との連携に関する項目が全国平均を下回っている。こどもたちに身に付けさせたい資質・能力を、学校が家庭や地域と共有し、その育成に向けて連携・協働することが求められる。

最後に参考資料であるが、こちらは、児童・生徒質問紙調査から、こどものウェルビーイングに関連すると考えられる項目を取り出したものである。小・中学校ともに全国平均をほぼ上回っている状況となっているが、この点については、なお一層取組を推進する必要があると考えている。各校においては、自校の状況を丁寧に捉え、こどもたちがウェルビーイングを実感できるために、学校・地域・保護者が協力して何に取り組めるのかなどを考えるきっかけにしていきたいと思っている。

今回の結果は、児童生徒が興味・関心をもって、学習に取り組んできたことや、各学校が積極的に授業改善に取り組んできたことに加え、児童生徒の心身の状況や学習状況を把

握し、支援しながら、指導を積み重ねてきたことによるものと捉えている。

課題があった教科においても、基礎的・基本的な内容や教科学習における興味や意欲は、全国平均を上回っており、生徒が主体的に学習に取り組めるよう指導の工夫が図られているものと捉えている。

今後、調査結果について詳細な分析を行い、各学校に指導の改善に資する情報を提供するなど、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を目指して取り組んでいく。

(中野委員)

本県の先生方が頑張っている様子うかがえて大変素晴らしいと感じた。

青森県は隣に全国学力テストが全国一の県があり目立っていないが、実は非常に頑張っていることをアピールしていただきたい。

また、全国学力テストの問題が解けたか解けなからで一喜一憂するのではなく、その問題に込められている授業改善のメッセージを指導主事の先生方に読み取っていただき、現場の授業改善を御提言いただきたい。学校現場に対しては、問題が解けなかったから何とかしてと言うのではなく、一緒に寄り添って進めていってほしい。大変素晴らしい結果で良かったと思う。

(新藤委員)

中野委員からも話があったが、先生方が非常に頑張っている様子うかがえた。

中学生の方で若干苦手意識があるような部分に関しては授業改善に役立ててほしいと思う。その他に質問紙調査の部分で自分の考えを発表する機会が全国平均より若干低い傾向が見られるため、自分の意見をアウトプットする機会や自己表現する機会をより設けてほしい。

(教育長)

他に御意見等はあるか。なければ報告第1号については、青森県教育委員会として了解した。